

核医学検査（放射線被ばく）説明書

検査について

核医学検査は、体内の様々な臓器に集まる薬剤（放射性薬剤）を投与（静脈注射など）して、その集積の状態を撮影し、機能や形態、病態を調べる検査です。

当院の装置では、核医学装置とX線CT装置を搭載しており、検査によってはCT撮影を行い正確な位置同定を行っています。

被ばく線量について

1回の検査薬投与による被ばく線量は0.5～20ミリシーベルト（mSv）程度です。代表的な検査の被ばく線量は下記を参照してください。検査によってはCT撮影を行うためCTによる被ばく線量も加算されます。（全身単純CTによる被ばく線量は5～10mSv程度）全身に100ミリシーベルト以下の放射線量では、現在のところ、がんや白血病になる人の割合が増えているという事実は確認されていません。むやみに連続して何度も行うようなことをしなければ、医学的に問題となる可能性はきわめて低いと考えられます。お子様の場合は、体格を考慮して大人よりも少ない投与量、少ない放射線の量で撮影するようにしています。

被ばくによる不利益より、検査により得られる情報の有益性の方が高いといえます。

〈代表的な検査の被ばく線量〉

- | | | | |
|-------------|-------------|-----------|--------|
| ・心筋シンチグラフィ | : 1.5～20mSv | ・骨シンチグラフィ | : 5mSv |
| ・脳血流シンチグラフィ | : 5～10mSv | ・腎シンチグラフィ | : 3mSv |

検査後の諸注意について

核医学検査は放射線を出すお薬を投与して検査を行っていますので、検査中は患者さんご自身の体から放射線が出ています。しかし、病院から退出される頃には、その放射線の量は基準値以下になっていますので、通常に過ごされて問題ありません。

ただし、小さなお子様は大人に比べて放射線の影響を受けやすいので、投与当日は、念のため妊婦、乳幼児への接触は控えていただき、2～3mほど距離を置くようにお願いします。距離が離れれば離れるほど放射線の量は少なくなります。

解らないことがある場合には遠慮なく担当者にお聞きください。

検査の変更、キャンセルについて

前日（土日祝日を除く）の15時までに放射線科 1 階受付（079-294-2251）へご連絡ください。

核医学検査で使用する薬剤は、使用期限が極めて短く、高額なお薬となります。そのため、患者さん自身の都合により検査をキャンセル又は延期され、お薬が使用できなくなった場合当該薬剤費用をご負担いただきます。

- 患者さん自身の不注意で前処置が守られず検査が中止となる場合
- 検査予定日に来院されなかった場合
- 期限までにご連絡がなく、キャンセル又は延期される場合
- 検査開始直前、開始後に検査拒否された場合